

CSR NEWS





メディア企業としての特性を生かした CSR活動を継続

認定放送持株会社「フジ・メディア・ホールディングス」は、新たなメディア集合体を目指す中で、 CSR活動も重要な企業活動のひとつとして位置づけています。

これまで、社会に対し果たすべき責任、実施すべきCSR活動について真剣に検討し、実行してきましたが、 東日本大震災以降、フジ・メディア・ホールディングスのCSR活動の柱に「被災地支援」が加わりました。

被災地が受けた傷跡は、いまだに残っており、「東日本大震災」という災害はまだ続いています。

未曾有の大震災を風化させない、被災地の方々を忘れないということが、企業の社会に対して約束する「責任」とも言えます。 今後も中核子会社フジテレビを中心にグループ各社が協働して長期的な被災地支援活動・復興支援活動を行っていくとともに、 その他の社会貢献活動・環境活動についても本業を生かした多様な形態で実行していく予定です。 失われたコミュニティ再生のお手伝いを! 息の長い支援を継続中

フジテレビ ずっとおうえん。プロジェクト



2012年4月に、これまでの「こどもおうえんプロジェクト」をさらに発展させ、長期的・継続的支援を念頭に置いた「ずっとおうえん。プロジェクト」を発足させました。被災地の子どもたちだけではなく、家族やコミュニティにまで対象を広げ、フジテレビが持つノウハウを生かした「支援力」で各種イベントを実施しています。2013年度はこれまで行ってきた活動に加え、高齢者や、視覚や聴覚などに障がいがありハンディを負って被災地で生活している方々のニーズを模索しながら活動の幅を広げていく予定です。

数々のイベントを通じて たくさんの笑顔と出会いました!

38カ所を訪問。





参加した フジテレビアナウンサー のべ38人

2012年度 活動一覧 2012年4月1日~ 2013年3月31日 ●仙台市しげる保育園 ●仙台市まつぼっくり保育園 ●陸前高田市高田保育所 ●陸前高田市米崎保育園 ●陸前高田市スポーツドーム・サンビレッジ高田 ●仙台市ふたばエンゼル幼稚園 ●仙台市ふたばハイジ幼稚園 ●相馬市山上幼稚園 ●相馬市磯部幼稚園 ●石巻市中央公民館 ●田代島開発総合センター ●南三陸ホテル観洋 ●南三陸町名足保育園 ●南三陸町入谷小学校体育館 ●東白川郡塙町公民館

●気仙沼市 竹の会所 ●気仙沼市 竹の会所朗読会 ●気仙沼市みなみまち cadocco ●仙台放送まつり ●東松島市矢本運動公園 ●二本松市安達が原ふるさと村 ●山元町 ふれあい産業祭 ●宮古市宮古泉幼稚園・いずみ保育園 ●宮古市赤前保育園・津軽石保育所 ●宮古市田老保育所 ●宮古市田老児童館 ●宮古市千徳保育所 ●宮古市 小山田保育所・磯鶏保育所 ●宮古市そけい幼稚園・高浜児童館 ●宮古市新里保育所 ●流通経済大学・八原保育園 ●大河原町第二光の子保育園 ●村田町村田保育所

●陸前高田市内子育で支援施設/保育園等(合計4ヵ所) ●福島市あづま総合体育館

東日本大震災直後からスタートした 「こどもおうえんプロジェクト」と合わせると

訪問箇所

約90九所

出会った人たち

, PICK UP ,

○ 気仙沼『竹の会所』にて食育&朗読イベント

滋賀県立大学 環境科学部 環境デザイン学科 (陶器浩一研究室) の 学生たちが、気仙沼の方々と一緒に建てた『竹の会所』。地域に生息 する竹を使ってみんなが集まれる空間をと、父親も自宅も津波で失った 男性が建設地を提供し2011年10月に完成したものです。そこで9月1日、アナウンサー朗読会と食育イベントを実施しました。会場に は地元の方々がたくさん集まり、憩いの場の大切さを実感するものと なりました。





○ 宮城県東松島市で地元の伝統芸能大曲浜獅子舞と インド舞踊とのコラボ

2012年10月6日、インド大使館の協力のもと『日印友好60周年記念 ずっとおうえん。プロジェクト in 東松島』を開催。メインイベントは、地元の「大曲浜獅子舞」とインド仮面舞踊「プルリア・チョウ」のジョイントパフォーマンス。2つの伝統文化が見事に調和し、会場を盛り上げました。

その他、本場インドヨガ体験やインド絵画アーティストによるワークショップなどを実施。地元のみなさん200人以上が参加し、大変喜ばれました。

dinos

東北に春を! ディノスとのコラボイベントを 陸前高田市で開催!

ディノスでは、2012年から東日本大震災の復興支援活動『東北に春をお届けします。』を行っています。東北の花の生産者の協力を得て、被災地の子ども達にお花の苗をプレゼントするというもので、フジテレビ「ずっとおうえん。プロジェクト」もこの主旨に賛同。3月13日、生田竜聖アナと岩手めんこいテレビのキャラクター・ミット君とともに陸前高田市内の4ヶ所でイベントを行いました。



○ 今後の活動予定

『ハロー! どっこくん』 食育イベント継続!

被災地の保育園や幼稚園での食育イベントは、「ずっとおうえん。プロジェクト」のメインプログラムとして継続していきます。食育出前授業『ハローどっこくん』についてはP5をご覧ください。

岩手県久慈市で 食育イベントを開催

6月27日~28日の2日間、岩手県庁、久慈市役所の協力のもと、市内5ヵ所の保育園で『ハロー!どっこくん』を開催予定。合計約450人の子どもたちの笑顔と出会います。

福島県郡山市で 食育イベントを開催

大震災から2年以上が経過した今もなお、放射線の影響を心配する日々が続く郡山市。 大規模な除染を終え、制限付きながら外遊びを再開した 双葉幼稚園、双葉第二幼稚園で開催予定。

福島県会津若松市で 朗読イベントを開催

7月6日、飯盛山にある歴史的 建造物『さざえ堂』でフジテ レビアナウンサーによる朗読 イベントを開催予定。主催の 東京造形大学とともに、来場 者に楽しんでもらえるような 演出を企画中。

ずっとおうえん。プロジェクトホームページ > http://www.fujitv.co.jp/csr/zutto/

● 東日本大震災支援活動



テレビ局ならではの企画力を活かし、 大規模に支援イベントを開催

今年もやります!『お台場合衆国2013』 「楽しくなければお台場じゃない!」

2012年はフジテレビお台場移転15周年を記念し「新時代」をテーマに、これ までよりさらに新しいこと、さらに面白いこと!をめざして多岐にわたるイベント・ 企画を実施。自家発電による節電や防災訓練、「みちのく食堂」ブースの設置な ども行いました。

今年は『お台場冒険王』から『お台場合衆国』に生まれ変わって5周年になる 節目の年。引き続き「震災を忘れない!」をテーマに「ニッポンのリニューアル」 とも言える震災復興や景気回復を応援していく予定です。







東北支援イベント『みちのく合衆国』開催! 来年は岩手で開催予定!

2012年より始まった『みちのく合衆国』。2年目の今年も『お台場 合衆国』の収益により、3月30日に福島で開催することができました。 今年は「THE MANZAI」と「めざましライブ」の各ステージに、地元 の方々合計7,000人を無料でご招待。その他、物産品販売や東北各局 のゆるキャラと地元のご当地キャラクターが勢ぞろいのキャラクター・ グリーティングイベントなど、全社的な被災地支援活動を行いました。 来年は岩手で開催する予定です。

東日本大震災をテーマにした映画を製作

8,000本の動画を1つに 『JAPAN IN A DAY』

『JAPAN IN A DAY ジャパン インア デイ』は、震災 から1年経った2012年3月11日の "日常の一コマ" を 世界中の人々に撮影してもらい、映像を紡ぎ合わせて一 本の映画を作ろうというプロジェクト。集まった動画は 約8.000本。 リドリー・スコット氏率いるスコット・フリー との共同製作を実現し、2012年11月3日に全国公開さ

れました。東京国際 映画祭の特別オー プニング作品にも選 ばれ、復興に向かう 日本の姿を全世界 に発信しました。



報道では伝えきれなかった生命の証 『遺体~明日への十日間~』

震災により、岩手県釜石市は、被害にあった地域と 難を逃れた地域とに分かれ、遺体の搬送や身元確認を 残された市民が行いました。

当時の報道では伝えきれなかった真実を描いた石井光太 氏の著作『遺体 震災、津波の果てに』(新潮社刊)を

基に、被災地の真実を 伝えたい、後世に残し たいという想いから君塚 良一監督が新たな取材 を重ねて映画化。2013 年2月23日全国公開し、 収益は被災地に寄付す る予定です。



番組を通して生まれた支援企画や 取り組みも継続中

始動から3年めに… めざましテレビ『Tattonプロジェクト』

『Tattonプロジェクト』は、朝の情報番組『めざましテレビ』が2011年6月から継続して行っている被災地支援活動です。

東日本大震災による津波の塩害を受けた畑を、除塩効果のある綿花を栽培することで復旧させようとするもので、



2012年は人気アーティストゴールデンボンバーもプロジェクトに参加。福島県新地町の農地など計100アールから、120kgの綿花を収穫しました。また、綿花を栽培した畑は、除塩効果により稲作が可能な状態になりました。

この活動をはじめて3年めとなる2013年度は、収穫した綿花の糸を使ったTattonタグ付きTシャツやハンドタオルを制作し、東北支援イベント『みちのく合衆国』で販売。 今後はさらに農地を拡大し、一般の方も参加できる企画を展開していくだけでなく、将来的には被災地で雇用を生み出す事業スキームを確立できるように活動を継続していく予定です。



緊急シンポジウム 『21世紀の心のケアを考える』を開催

震災から2年となる3月、フジテレビと日本トラウマティックストレス学会(JSTSS)が 共催で、震災後の心のケアをテーマに市民シンポジウムを開催しました。冒頭、 笠井信輔アナ(フジテレビ)が、発災直後に現場で体験した悲劇について基調講演。 笠井アナ本人がPTSD的症状を体験し、カミングアウトするまでの葛藤を語りました。

そして、PTSD研究で日本を代表する医師・学者らが今回の震災における心のケアに関する課題や研究成果を発表。会場では大勢の参加者が熱心に聞き入っていました。また、これと連動する形で、PTSDに関する2時間のドキュメンタリー番組『0311、知られざる心の闘い』を制作、筆記療法やトラウマと向き合う療法等を通して心の病から立ち直ろうとする姿を放送。更にBSフジ・プライムニュースでも心のケアについて討論しました。

福島市の花見山公園にサザエさん花壇が登場!

福島県福島市の花見山公園に「サザエさん花壇」が登場しました。 『サザエさん 放送 2200 回記念 & 45 周年前祝いスペシャル』の中で、サザエさんが花見山を訪れ、自分の顔の花壇を作りたいと種まきをするシーンがあることから生まれた企画で、2013年4月3日に完成。「サザエさんの顔」をかたどった花壇は、地元の福島明成高校・草花専攻班の生徒たちが約1千株の花を植えて完成させたものです。 福島に、サザエさんの"元気の花"が咲いています。



● その他 継続的 CSR 活動

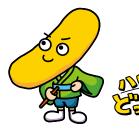
「まじめに楽しく!」をモットーに、 私たちにできることを!

食育出前授業『ハロー! どっこくん』

FCG 総合研究所をはじめとするフジ・メディア・ホールディングス各社が協働で行う食育プロジェクト、『ハロー! どっこくん』。子ども達に食と運動、排泄("いいうんち"を出すこと)の大切さを教えることを目的としたもので、保育園・幼稚園を訪問して行う「食育出前授業」を開催しています。オリジナルキャラクター "どっこくん"をメインに、どっこくん体操や紙芝居を展開。CSRホームページでイベントの様子を公開し、随時申し込みを受け付けています。

●どっこくんホームページ > http://www.fujitv.co.jp/dokko/





652(A.

◎フジ・メディア・ホールディングス/CSR2010

『日本点字図書館』の 蔵書朗読録音

目の不自由な方にも本を楽しんでいただくための施設『日本点字図書館』。書籍を音訳し、Recdia(録音システム)で録音したのち、インターネットで配

信しています。2009年秋から、フジテレビCSR 推進室兼務のアナウンサーたちが、蔵書朗読録音 のボランティア活動を継続的に行っています。

フジポッド文庫の寄贈



2006年3月~2009年12月まで配信されていた『フジポッド文庫』。フジテレビのアナウンサー達が日本の名作文学を朗読しているものです。この『フジポッド文庫』をCD化し図書館、盲学校、老人

福祉施設、小学校、児童館などの団体に寄贈する取り組みを行っています。CSRのホームページから随時申し込みを受け付け中です。

●フジポッド文庫 > http://www.fujitv.co.jp/csr/fujipod/

スピーチコンテスト 『カナエール』



児童養護施設で生活する子どもたちが"夢"をテーマにスピーチするコンテスト『カナエール』。認定NPO法人「ブリッジフォースマイル」が主催するも

ので、フジテレビのアナウンサーがスピーチの指導を行っています。子どもたちの自立を応援するため、 今後も支援を続けていきます。

学生映画祭 Student Films 7 in ODAIBA



映画を専攻している学生たちに作品発表の場を提供し、第一線で活躍する映画製作者たちとの交流を通じて人材を育成、日本の映像産業の発展に貢献するイベント。 2009年から継続的に開催して

おり2012年は、東北芸術工科大学も参加。4回目となる 今年は7校が参加し、7月28日にフジテレビ社屋内の マルチシアターで開催予定。

○ フジ・メディア・ホールディングス グループ各社のCSR活動

フジ・メディア・ホールディングス グループ各社も頑張っています!



2012年10月10日、フジテレビが声かけをしてフジ・メディア・ホールディングス各社とともに初めての合同清掃ボランティア活動を実施しました。16社から合計68人もの参加者があり、フジテレビ社屋周辺の清掃活動を実施。

およそ1時間で90リットルのゴミ袋10袋以上のゴミを回収することができました。今後は定期的に開催する予定です。





では、1242 ニッポン放送

ラジオチャリティ ミュージックソンへの協力

24時間に亘って放送している『ラジオ・チャリティ・ミュージックソン』。これは目の不自由な方が安心して、街を歩けるようにするため「音の出る信号機」設置の基金を募るキャンペーンで、昭和50年から毎年実施してきました。24時間の生放送を通して、身体に不自由のある方々に対する理解や思いやりの気持ちを広く育んでいくことがこのキャンペーンの主旨です。2012年までに寄せられた浄財の総額



は41億4,489万6,111円。これを基金に全国で2,905基の「音の出る信号機」を設置しています。ラジオならではの温もりと絆を感じていただけるキャンペーンを展開しています。

dinos

お買いもので社会貢献 コーズ・マーケティングへの取り組み

ディノスでは "できることを、きちんと。" のCSRスローガンのもと、お客さまとともに取り組む活動として、お買いものに連動した寄付(コーズ・マーケティング)を2008年度より実施しています。2012年度はカタログやWEBなどの18媒体で、「復興支援」「子ども支援」「女性支援」「環境保護」について、(公社) セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、(公財) 日本対がん協会、国際環境NGO FoE Japanなど、8団体と連携しました。





このほかに商品での社会貢献として、国産材の家具の販売にも積極的に取り組んでいます。計画的に 伐採された国内の木材を使うことは、森林の健全な循環と林業の再生につながります。当社では 2011年、「東濃檜(とうのうひのき)」シリーズを初めて発売しご好評をいただきました。その後 種類を増やし、2012年度には「東濃檜」に加え「紀州檜」「四万十檜」「木曽檜」「会津桐」「日田杉(ひ たすぎ)」「兵庫杉」の7シリーズを展開しています。

私たちはこれからも、通信販売ならではの商品やサービスを通して、社会貢献に取り組んでまいります。

フジ・メディア・ホールディングスは、グループ各社がこれまでに培ってきた実績を基礎に、放送事業を中核とする幅広い分野の事業を展開する新たなメディア・グループとして、国内外から高く評価される我が国を代表する「メディア・コングロマリット」を目指します。フジ・メディア・ホールディングスのCSR活動は、その長期的ビジョンの達成を図り、視聴者・聴取者・読者・利用者・消費者、株主、投資家、取引先の皆様を始めとする国民各層の支持を頂き、フジ・メディア・ホールディングスの持続的な成長を確保するための活動です。

そのため、フジ・メディア・ホールディングスはグループ・ガバナンスの構築、グループ・コンプライアンスの確保を図り、適時・適切な情報開示を行いながら、視聴者・聴取者・読者・利用者・消費者の皆様等の顧客満足度の向上、経営環境の変化に対応した新たな企業価値の創造を目指して、事業活動を通じた社会への貢献、地球規模の環境保全や身近な環境活動を積極的に進めていきます。

フジ・メディア・ホールディングスのCSR活動



環境活動

フジ・メディア・ホールディングスは、環境を考えるメディア・グループとして、地球規模の環境から身近な環境までの現状や様々な課題に関する情報提供をテレビ・ラジオ・新聞・インターネットといったメディアや出版・音楽といった著作物などを通して行い、視聴者・聴取者・読者・利用者・消費者の皆様とともに考え、行動していきます。

フジ・メディア・ホールディングスは、メディア・グループとして、何よりも今、地球規模で起きている環境問題をグループ企業の事業活動の中で伝え、国民の皆様とともに考え行動することの重要性を共有することが第一の任務と認識しています。そのため、地球温暖化の現状、家庭から始まる省エネ、省資源の推進や新しい環境技術の開発などについて情報提供を行うとともに、「地球環境大賞」等フジサンケイグループの環境活動へも継続して参画することとしています。

また、自らの事業による環境負荷を低減するため、関係法令の遵守を徹底するとともに、あらゆる機会を通じて二酸化炭素の削減、省エネ、省資源の促進するための事業の見直しを行い、環境保全への取り組みを継続的に改善、実施することとしています。

社会への貢献活動

フジ・メディア・ホールディングスは、メディア・グループ としての社会への貢献を常に意識し、その特質を生か した災害情報提供や芸術・文化活動をはじめ、様々な 分野での社会貢献活動を推進していきます。

フジ・メディア・ホールディングスは、大災害時には、 国民の皆様の生命・財産を守るのに役立つ防災関連 情報を積極的・的確に提供します。また、国内外の大 規模な災害等への支援活動やその他のチャリティー活 動についても積極的に対応することとしています。

さらにフジ・メディア・ホールディングスは、国際的に活躍する芸術家・芸術団体の招聘・作品の展示を行い、国内外の芸術文化団体等への支援を行うとともに、「高松宮殿下記念世界文化賞」等フジサンケイグループの芸術文化活動へも継続して参画し、わが国の芸術・文化の普及・啓発に貢献していきます。

フジ・メディア・ホールディングス ホームページ > http://www.fujimediahd.co.jp/